

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会: CISPR バンコク会議の結果 (1/2).....	3
IEC: 規格解説: IEC 61326-2-6 Ed. 2.0 インビトロ診断 (IVD) 機器 - EMC 要求.....	3
IEC: LED モジュールの安全規定: 国際規格の統合版が発行.....	7
IEC: 新規格リスト.....	9
ISO: 新規格リスト.....	11
国際テーマ: UNECE: 車線逸脱警報システム (LDWS)、AEBS 等の規制を採択.....	12
国際テーマ: UNECE: 第 5 回環境に優しい車両国際会議 発表資料入手可能.....	12
国際テーマ: コスモスニュースから各国認証関連情報を再掲.....	12
USA: CPSC: 子供製品の定期的試験のための代表サンプルの選択方法、記録保持要求.....	14
USA: FDA: 2013 年度の医療機器の年次施設登録の期限が 1 ヶ月延長.....	15
USA: EPA: エネルギースター最良効率 2013 年 最終判断基準を発表.....	16
USA: DOE: 省エネプログラム: スタンバイモード、オフモードを含む加熱機器試験手順.....	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 家庭用温水器等 試験手順発行、食洗機等試験手順訂正.....	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	20
USA: IEEE: 新規格リスト.....	21
EU: 整合規格リスト発表: EuP (ErP)指令実施規制 (待機モード/オフモード、モータ).....	23
EU: UNECE 1958 協定により 国際全車両型式承認 (IWVTA)の相互承認を推進.....	24
EU: 方向ランプ、LED ランプ及び関連機器の欧州 ErP 指令実施規則を公表.....	25
EU: エネルギー効率指令 2012/27/EU 発行: 2009/125/EC(エコデザイン指令)等微修正.....	26
EU: 欧州 RoHS 指令に関する委員会委任指令 2 件公表: RoHS 指令の附属書Ⅲを修正.....	27
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	27
EU: ETSI: 新規格リスト.....	30
中国: CQC: 通信端末設備製品強制認証規格の GB/T 22450.1-2008 への変更.....	31
中国: CQC: オフグリッド型風力発電セット認証規則公布についての通知.....	31
中国: CQC: オフグリッド型風力太陽光ハイブリッド発電システム認証規則公布.....	32
中国: CQC: 管形蛍光灯安定器認証規則改訂についての通知.....	32
中国: 新規格リスト.....	33
韓国: 電磁環境適合性技術基準、及び試験方法の改正 (案) 意見募集実施.....	35
韓国: 電磁波吸収率測定基準、測定方法の詳細 (第 2012-23 号、第 2012-43 号).....	36
台湾: 新規格リスト.....	38
総務省: IEC: 情報通信審議会 情報通信技術分科会: CISPR バンコク会議の結果(1/2).....	39
総務省: 端末設備等規則等改正、次世代高速無線 LAN、携帯電話端末に対する指針.....	42
経済産業省: 消費生活安全法: 経済産業省関係特定製品の技術上の基準等に関する省令.....	43
経済産業省: 消費生活安全法: 消費生活用製品安全法特定製品関係の運用及び解釈.....	43
経済産業省: 消費生活安全法: 消費生活用製品試買テストの結果報告の公表について.....	43
コスモス・コーポレーションからのご案内: 校正業務.....	13
ちょっといっぽく: 小クイズコーナー 危険防止の基本的な考え方.....	22
社長の独り言.....	44
A2LA 認定校正サービス.....	45



IEC: 総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会: CISPR バンコク会議の結果(1/2)

- 情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第 10 回）が、平成 24 年 12 月 12 日（水）開催された。議事の一部が配布資料で公表されている。ここでは、資料 10-3-2 電波利用環境委員会報告（案）から「CISPR バンコク会議の結果について」を、転載する。

IEC: 規格解説: IEC 61326-2-6 Ed. 2.0 インビトロ診断 (IVD) 機器 - EMC 要求

- IEC 61326-2-6 Ed. 2.0 (2012-07) が発行された。この第 2 版は、2005 年に発行された第 1 版を廃止し、それに置き換わるものである。技術的改定版である。IEC 61326-1: 2012 が新発行されたことに伴う文書の更新が行われた。
- イミュニティ試験要求事項 性能判断基準に関しては、IEC 61326-1: 2012 の 6.2 では、表 1、2、及び 3 内で性能判断基準 A、B、及び C が試験項目ごとに指定されている。しかし、本規格では、IVD 機器の特殊性に鑑み性能判断基準を決定する方法が規定されている。
- エミッション要求事項 IEC 61326-1: 2012 の規定そのままを適用する。

IEC: LED モジュールの安全規定: 国際規格の統合版が発行

- “IEC SC (小委員会 Subcommittee) 34A: ランプ” は、LED 照明の中のすべての部品の国際規格を作成している。一般照明用 LED モジュールの安全規定を定める国際規格、IEC 62031「一般照明用 LED モジュール - 安全規定」の統合版が、発行された。
- IEC 62031 は初版が 2008 年 1 月に発行された。2012 年 10 月の最初の修正 (amendment) の発行に続いて、この国際規格の統合版が、今、入手可能である。

USA: CPSC: 子供製品の定期的試験のための代表サンプルの選択方法、記録保持要求

- 消費者製品安全委員会 CPSC は、「製品認証に関する試験及びラベリング」についての規制を改定するよう、最終規則を発行する。

USA: EPA: エネルギースター最良効率 2013 年 最終判断基準を発表

- U.S. 環境保護局 (EPA) は、11 種製品カテゴリーに対して、エネルギースター最良効率(モストエフィシエント)2013 年の最終認証のための判断基準を発表。認証判断基準は、TV と窓を除き、全てのカテゴリーに対し提案通り採択された。TV に対する 2013 年度当初提案は最も需要の高いスクリーンサイズ 35-50 インチであまりに制限的であるというコメントを受けていた。

EU: UNECE 1958 協定により 国際全車両型式承認 (IWVTA)の相互承認を推進

- アクションプラン CARS 2020 は、以下のように結論付けている:「国際規制整合化にとっての最も有効な手段は、UNECE 1958 協定である。但し、この協定が新興経済国の必要性を取り入れるよう近代化され、そして、乗用車のカテゴリーからスタートして 国際全車両型式承認 (IWVTA)の相互承認が可能になるよう近代化された場合においてである」

韓国: 電磁環境適合性技術基準、及び試験方法の改正 (案) 意見募集実施

A2LA 認定校正サービス

電圧、電流、電力、RF、EMC 測定機器ほか

ISO/IEC 17025:2005 校正試験所として A2LA に認定

コスモス・コーポレーションは「ISO/IEC 17025:2005 & ANSI/NCSL Z540-1-1994」に適合した校正試験所として、2011 年 8 月 4 日付けで A2LA に認定を受けました。
(認定番号=2900.02) これにより、電圧、電流、電力、RF、EMC 機器等について、A2LA および ILAC 認定の校正証明書を発行できるようになりました。

ILAC とは？

『ILAC』(International Laboratory Accreditation Cooperation) は、世界で最も権威ある校正試験所認定の国際組織です。ILAC の認定を受けるということは、ISO/IEC 17025 に基づく品質管理体制のもと、世界各国で受け入れ可能な信頼性の高い校正サービスを提供できることを意味します。

A2LA 認定校正業務範囲

コスモス・コーポレーションでは、A2LA に認定された業務範囲において、A2LA および ILAC 認定シンボル付きの校正証明書を発行することができます。以下は、その認定校正業務範囲の一例です。

A2LA とは？

『A2LA』(The American Association for Laboratory Accreditation) は ILAC に加盟している試験所認定機関の一つです。認定範囲は、電気、機械、医療、化学、材料など多岐に及びます。

校正対象	校正項目	校正範囲
直流電圧	直流電圧発生	10mV ~ 1000V
	直流電圧測定	1mV ~ 1000V
直流電流	直流電流発生	10uA ~ 100A
	直流電流測定	1uA ~ 1A
交流電圧	交流電圧発生	10mV ~ 700V
	交流電圧測定	10mV ~ 700V
交流電流	交流電流発生	1uA ~ 100A
	交流電流測定	1uA ~ 1A
直流抵抗	直流抵抗	1Ω ~ 100MΩ
	直流抵抗測定	1Ω ~ 1GΩ
交流電力	交流電力測定	100W, 1kW
	直流電圧	1V ~ 1000V
オシロスコープ	交流電圧	1V ~ 700V
	周波数応答	1kHz ~ 1MHz
RF 電力	RF 電力発生	9kHz ~ 18GHz
	RF 電力測定	9kHz ~ 26.5GHz
RF 伝送路	インピーダンス	9kHz ~ 8.5GHz
	VSWR	9kHz ~ 8.5GHz
EMC 測定器	EMI レシーバ	9kHz ~ 3GHz
	LISN	9kHz ~ 3GHz
	アンテナ	25MHz ~ 1000MHz
	スペクトラム・アナライザ	9kHz ~ 3GHz
周波数	周波数発生	10Hz ~ 18GHz
	周波数測定	10Hz ~ 40GHz
	基準周波数	10MHz

※お問合せは——業務推進部 [sales@cosmos-corp.com] まで

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC 及び安全(EMC and Safety) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、http://www.safetyweb.co.jp/?page_id=1113

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2013-01-01 (No. 39)

発行所： 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人： 濱口慶一

編集人： 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2013 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。